

令和3年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

番号	団体名	特色ある取組
1	よこはましりつひがしぐみわしろうがっこう 横浜市立東汲沢小学校PTA	学校カウンセラーによる保護者向け講演会の開催や家庭科ボランティア等の活動により、学校教育及び家庭教育に寄与した。コロナに配慮しながら45周年記念誌の発行や記念品作成等を精力的に行うとともに、学校と地域との繋がりを深めることで地域教育力の向上に資する活動を行った。
2	よこはましりつまきはらしようがっこう 横浜市立万騎が原小学校PTA	コロナ禍において活動が制限される中、学校の伝統行事である「教育水田」を規模を縮小しながらも行い、PTAも積極的に役割を担ったことで無事に収穫することができた。作業を通じ児童・保護者・教職員・地域住民が共に一つのことを成し遂げることで協働力を養う活動を行った。
3	よこはましりついわいはらちゅうがっこう 横浜市立岩井原中学校PTA	地域の活動者とのネットワーク構築などの地域連携に力を入れており、生徒たちにも良い影響を与え、中学生ならではの地域貢献を意識した生徒会活動が行われた。また、保土ヶ谷区PTA連絡協議会会長校として、区内初のオンライン講演会を開催し、コロナ禍での活動方法の多様性を各校に示した。
4	よこはましりつきぼうおかしちゅうがっこう 横浜市立希望が丘中学校PTA	コロナ禍で多くの活動が中止になる中、地域への貢献を目的に、近隣の小学校PTAと協力して花火大会を企画・実施した。たくさん子どもたちや地域の方々が夜空を見上げることとなり、コロナ禍による閉塞感の中、地域に希望を届ける活動を行った。実施に向けた地域との調整を通じ、これまで以上に協力関係が深まった。
5	よこはましりつほんごうだいしようがっこう 横浜市立本郷台小学校PTA	保護者が参加する多様なボランティア活動が活発に行われており、コロナ禍においても感染防止対策をしつつ、タブレットで撮影して読み聞かせを行うなど、独自の工夫で学校を支援し続けた。登下校時の見守りでは、総勢約460名を擁するグループを組織し、見守り、危険箇所の確認、情報共有など、地域ぐるみで協力して子どもたちが安全に通学できるよう活動を行った。
6	よこはましりつうらしましようがっこう 横浜市立浦島小学校PTA	コロナ禍において対面での活動が制限される中、本の修理や本に関心を持ってもらうためのポップづくりを行うなど、工夫しながら代わりとなる活動を地道に継続させた。「地域のボランティアへの感謝の集い」が中止になった際には、感謝の手紙を書き取組を行い、子どもたちに感謝の気持ちを伝える大切さを教えつつ、地域との連携を保つよう努めた。
7	よこはましりつみなやまたしようがっこう 横浜市立南山田小学校児童の保護者と教職員の会	次年度以降に向けて、コロナ禍での社会の変化に対応した「子どもたちを中心とした活動」に重点を置き、「時代に即したPTA活動」が行える土台を作るため、活動内容や規約の見直しを行った。活動のIT化推進にも尽力し、「役員会だより」のメール配信をしてタイムリーな情報提供を行った。
8	よこはましりつえのきはらしようがっこう 横浜市立榎が丘小学校PTA	地域の清掃活動や防災会議などに参加し、地域住民との交流や連携を絶やさないように活動した。挨拶の大切さを児童に伝え、互いの信頼関係を醸成するため、登下校時に率先してあいさつ活動を行うとともに、通学時の見守りや交通マナー指導を行い、児童の安全な通学を支援した。
9	よこはましりつもとしいかわしようがっこう 横浜市立元石川小学校はぐくみの会	ホームページを一新し、保護者にわかりやすい情報を随時提供するなど、ITを活用した活動の推進により、これまでの印刷物に係る印刷費用や作業時間の軽減を図ることができた。ホームページは保護者から大変好評で、多くの意見はホームページを経由して寄せられるようになった。また、多くの保護者が校内の消毒作業に参加し、安全な学習環境の維持に協力した。
10	よこはましりつきたつなしまとべつしえんがっこう 横浜市立北綱島特別支援学校PTA	「まちとともに歩む懇話会」を開催し、メンバーに学校の様子を伝えながら、相互の親睦を深めている。コロナ禍における家庭での悩みや学校教育における課題等を共有する座談会「北綱カフェ」を実施した。普段抱えている悩み以外にコロナ禍特有の心配事や不安を話せる場を設定し、家庭と学校とが課題を共有し、今後の方向性を探ることができた。
11	かわさきしりついまいちゅうがっこう 川崎市立今井中学校PTA	「できる人が、できるときに、できることを」をモットーに、既存の委員会の改編を行う等、保護者・教職員が参加しやすい環境を整備するとともに、新型コロナウイルス感染防止対策として「今井中PTAガイドライン」を作成し、オンラインによる役員会の開催やSNSで委員への連絡を行うなど、多くの保護者や教職員がPTA活動に参加しやすい環境づくりに努めた。
12	かわさきしりつひがしたかつしようがっこう 川崎市立東高津小学校PTA	学校・PTA・町内会の地域住民とで構成している「地域安全連絡協議会」の開催を年3回以上計画し、各主体が情報交換を行った上で見守り活動やパトロールを実施し、校外で子どもたちが安全に過ごせるよう地域との連携を深めた。また、地域住民と協力して作成した安全マップを基に子どもたちの安全を見守るだけでなく、危険箇所のチェックを行うことで安全マップの更新を図るなど、自らの活動にも反映させた。
13	かわさきしりつあそひしようがっこう 川崎市立犬蔵小学校PTA (学校と家庭の連絡会)	総会はアプリを利用した紙面総会へ移行し、Web会議システムを使用した役員会・運営委員会などを開催するなど、多くの保護者や教職員がPTA活動に参加しやすい環境づくりの構築を図った。規約、総会資料、運営委員会の議事録等PTA活動に関する各種資料を会員限定でホームページに公開し、それを定期的に更新するなど、どの会員も情報を得やすい環境を構築した。
14	かわさきしりつみなみいたちゅうがっこう 川崎市立南生田中学校PTA	平成30年度からPTAアンケートを会員に対して実施し、本部役員や委員では気づけなかった点への意見や指摘を得ることで、改善すべきポイントの明確化を図り、それをPTA活動に反映させた。また、家庭教育学級を計画する際にも、そのアンケートを基に会員の希望に沿った講演会や講習会を検討することで、より多くの会員がPTA活動に参加しやすい体制づくりを行っている。

令和3年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

15	さがみはら しりつみどりだいしょうがっこう 相模原市立緑台小学校PTA	コロナ禍において、児童が校内のトイレ掃除を行えない状況の中、本部役員がトイレ掃除を実施した。運動会では、学校からの依頼を受け、保護者の守るべきルールやマナーをアナウンスするとともに、コロナ対策のための立ち見の協力等と呼びかけた。保護者及び児童の安全・安心な教育環境づくりに貢献した。
16	さがみはら しりつほしむらたしょうがっこう 相模原市立橋本小学校PTA（保護者と教職員の会）	コロナ禍で例年の行事が開催できない中、子どもたちの思い出づくりのため、児童を巻き込んだクリアファイル作りを企画し、実施した。また、登校班が集合・出発する時間に各委員が可能な限り立ち合い、あいさつや言葉かけを行う「あいさつ運動」を実践した。児童とPTA会員の繋がりを深め、笑顔あふれる学校づくりに貢献した。
17	さがみはら しりつおおのだいしょうがっこう 相模原市立大野台小学校PTA	PTA便りの中で、自宅でできる感染防止対策の紹介や検温等の健康観察の必要性の呼びかけを行い、保護者及び児童の感染症予防意識の向上に貢献した。また、PTA本部で校門前の花壇の花植を行ったほか、地域の方と協力してベルマークやアルミ缶の回収を行い、その収益により、子どもたちの教育環境整備に貢献した。
18	さがみはら しりつちゅうおうちゅうがっこう 相模原市立中央中学校PTA	卒業生から制服、体操着等を回収し、リサイクルに繋げる活動「標準服リサイクル」を通して各家庭への支援を実践し、資源循環意識の啓発に成果を上げた。また、コロナ禍においても、生徒の文化活動の発表機会を守るため、学校とともに、広い会場の確保に尽力した。
19	さがみはら しりつしんちょうちゅうがっこう 相模原市立新町中学校PTA	役員選出について、早い時期から保護者への意向調査を行うなど、組織を円滑に運営するための工夫を積極的に実践しており、PTA活動の効率化及び負担軽減にも成果を上げた。また、コロナ禍において活動が制限される中でも、感染症対策を講じて運営委員会等を定期的に開催し、学校行事をはじめとする様々な教育活動を支援した。
20	よこすか しりつおぼらだいしょうがっこう 横須賀市立小原台小学校PTA	例年よりも縮小して後期のみ活動とし、各委員会での連絡事項に無料通話アプリ等を使用、メールで書面総会を開催、委員決定をオンラインアンケート形式で実施するなど、感染予防対策をより強化した。また、気軽に立候補してもらえるよう「やりましようカード」を配付し、PTA活動を円滑に行うための工夫をした。
21	よこすか しりつあきあきちゅうがっこう 横須賀市立衣笠中学校PTA（保護者と教職員の会）	コロナ禍においても、「出来るときに出来る事を」「無理なく楽しく」をモットーに、リモート会議やメールを活用したり、教員と校内消毒作業を一緒に行いながら学校の様子を会員に情報発信したりするなど、状況にあった活動を心がけ、学校運営に協力する機会を兼ねた活動を行った。
22	よこすか しりつあきあきちゅうがっこう 横須賀市立常葉中学校PTA（保護者と教職員の会）	入学式での常置委員決りを廃止にすることで、入学式当日の負担軽減と時間削減を図った。会員への感染予防対策の発信や常置委員への連絡にメールや学校ホームページを利用し、意思の疎通を図るなど、感染症予防対策をより強化し、活動しやすい環境づくりのための工夫をした。
23	かまくら しりつふかさわちゅうがっこう 鎌倉市立深沢中学校PTA	地域の方と協力し、通学マップを作成した。また、部活等で帰りが遅くなるため、暗い道（街灯が無いなど）を含めた防犯マップを更新し、新入生説明会で配付している。入学前から保護者の意識を高める活動を展開した。
24	ふじさわ しりつごしよ みちちゅうがっこう 藤沢市立御所見中学校PTA	常に学校に寄り添い、学校を支える活動を継続して実施した。学校行事や儀式的補助・協力のほか、校内環境の整備には保護者や教職員も多数参加して、教育効果の高い活動を行った。また、長期欠席・不登校生徒の保護者の不安や悩みを軽減する目的で「登校に関するおしゃべり会」を立ち上げ、活動を行った。
25	やぎがき しりつにしはまちゅうがっこう 茅ヶ崎市立西浜中学校「保護者と先生の会」(PTA)	学校行事の際に、学校と密に連携を取り、ボランティア活動に取り組んでいる。また、体育大会のイベントにおいても、重要な役割を担った。その他、地域内で活動する様々な団体活動にも参加し、地域における重要な役割を担った。
26	はやまちょうりついつしきしょうがっこう 葉山町立一色小学校PTA	コロナ禍において活動が制限される中でも感染防止対策を講じ、児童のために「校長先生を探せ！」「イッシキ大迷路」「放課後シネマ」など様々なイベントを企画、実施し大変好評を得た。また、地域の方々の協力を得て「PTAミニ田んぼ」を実施するなど、学校と地域の繋がりを絶やさず、コロナ禍において希薄になりつつある人と人との繋がりを大切に、充実したPTA活動を行った。
27	あつぎ しりつえちみなみしょうがっこう 厚木市立依知南小学校PTA	年間を通して、役員が交代でPTA花壇の整備を行った。他にも地域の方が、学校の池の周りのプランター60鉢以上の管理を行い、児童は栽培委員会活動として水やり等を行った。その活動を見守り・支援することで学校の美しい景観が保たれている。初めて本部役員や運営委員、常置委員を経験する方にも分かりやすいように、活動内容や手順を具体的に示したマニュアルを作成し、活用した。
28	やまと しりつふかみしょうがっこう 大和市立深見小学校PTA	コロナ禍においても、6月から定期的に役員会などで感染予防対策を講じ、ベルマークの収集など家庭でもできる取組を紹介し、会員からも好評を得た。落ち葉の清掃や登下校の安全支援など、学校と地域を結ぶ活動を推進し、落ち葉の清掃では会員が参加可能な曜日に集まり清掃活動を実施した。
29	ざま しりつくりはらちゅうがっこう 座間市立栗原中学校PTA	PTA本部、各委員会、教職員が活発に情報交換・意見交換を行い、運営が効率的で充実するよう一体となって取り組んだ。体育祭や文化祭、ロードレース大会などの学校行事については、前年度の課題を踏まえ、更なる協力体制を毎年積み重ねている。栗原中学校区青少年健全育成連絡協議会と協働で朝のあいさつ運動を実施するなど、関係機関、地域とともに地域教育力を高めた。

令和3年度優良PTA神奈川県教育委員会表彰 受賞団体「PTAの取組」

30	あやせ しりつぞうえんしょうがっこう 綾瀬市立早園小学校PTA	コロナ禍においても、前向きに委員会の活動を続け、感染予防のための工夫を行い、校庭の除草作業や交通安全教室の支援などのPTA活動を実施した。広報紙を地域で回覧し、学校の教育活動及びPTA活動についての情報発信を行うことで、会員がPTA活動を理解し、参加意欲を高めるとともに、地域にも活動への理解と協力を得ることに役立っている。
31	ひらつか しりつよこうちしょうがっこう 平塚市立横内小学校PTA	保護者、地域と学校が連携を密にし、「笑顔であいさつ広がる横内の輪」をスローガンに掲げ、子どもたちの健やかな成長を願った積極的な活動を行った。行事の手伝いや見守りの活動、年間を通じ保護者がいろいろな場面で関わる「お手伝い活動」に取り組んだ。
32	はが の しりつすえひろしょうがっこう 秦野市立末広小学校PTA (保護者と先生の会)	子どもたちの心豊かな成長のため、資源回収などの地域を巻き込んだ活動を計画した。また、復興Tシャツの販売を通して、利益の一部を震災やコロナウイルス感染症の影響で苦しんでいる人々へ寄付を行った。地域の方の協力を得て、登下校のあいさつ運動や安全指導や見守り活動を行った。
33	はだ の しりつ ようちえん 秦野市立ほりかわ幼稚園PTA	日頃より、役員のみならず一般会員も委員会活動への積極的な参加があり、保護者同士協力して意欲的に活動を進めた。地域の清掃活動に取り組んだり、例年行っているバザーを、感染症対策を講じた上でミニバザーとして開催し、保護者同士の交流の場を提供したりした。
34	おおいぞちようりつ ようちえん ぼごしお せんせい かい 大磯町立たかとり幼稚園保護者と教師の会 (PTA)	地域の人材を活用した活動や交通安全教室等を通して、PTA活動の活性化を図るとともに、地域に根ざした活動を行った。また、役員が中心となり、保育発表会やおたのしみ会のお手伝い、園内の清掃活動を感染予防に配慮しながら行い、保護者間の親睦が深まり、子どもたちの成長に大きな成果をあげた。
35	おだわら しりつしろやまちゅうがっこうぼごしお せんせい かい 小田原市立城山中学校保護者と先生の会	コロナ禍により、PTA活動の多くが制限される中で、成人教育委員会を中心に視覚障がい者であるバイオリニストの演奏会を開催し、会員を含めた学校全体にインクルーシブ教育の意識を高めると同時に、相互に思いやる温かい心の醸成に寄与した。また、図書室の環境整備や卒業式の会場づくり等のボランティア活動に積極的に取り組むことで、生徒の学校生活を支援した。
36	みなみあしがらしりつみなみあしがらちゅうがっこう 南足柄市立南足柄中学校PTA	コロナ禍において、役員同士や教職員との連絡手段として、SNSやSMSを活用し、重要事項を確実にすばやく連絡できる仕組みをつくることで、円滑な運営を図った。また、感染症対策を取りながら「あいさつ運動」等できることを行うことで、学校と保護者が互いに連帯感を強め、会員の地域活動への参画意識を高めた。
37	かながわ けんりつ た ま こうとうがっこう 神奈川県立多摩高等学校PTA	PTA総会案内・資料送付、総会の賛否確認を、コミュニケーションツールを用いて実施するなど、ICTを積極的にPTA活動に取り入れた。またコロナ禍での行事サポートを工夫し、体育祭でのペットボトル飲料提供の際には、事前配付した学年や男女別等がわかるタグにより誤飲防止を図り、学校と一体となって感染防止に努めながら、行事の成功に寄与した。
38	かながわ けんりつしゅうなんこうとうがっこう 神奈川県立湘南高等学校PTA	オンラインによる自校会議・地区会議と大会（講演会）・各校PTA会長との情報交換会を開催し、ICTを活用して湘南鎌倉地区理事校としての責務を十分に果たした。また、中学生等を対象にオンライン校内施設案内を実施し、学校の広報活動に寄与した。コロナ禍でのニューノーマルへの迅速な対応は他の模範となった。
39	かながわ けんりつ ふじさわこう か こうとうがっこう 神奈川県立藤沢工科高等学校PTA	PTAの提案でPTA、教職員、全校生徒が協力してコロナウイルス感染終息の願いを込めてアマビエモニュメントを制作した。また、工科高校の「ものづくり」精神を生かして展示ケースも自作した。このことにより学校全体に元気があふれ、P（保護者）・T（教職員）・S（生徒）の一体感を醸成することができた。
40	かながわ けんりつ かみつる ま こうとうがっこう 神奈川県立上鶴間高等学校PTA	相模原地区理事校として、テレビ会議システムを導入して地区大会を開催し、成功に導いた。人数を制限した会場の参加者、発表校の学校、自宅等での参加者をオンラインで結び、事例発表の際には会場からの質問に学校から参加の担当者が回答するなど、ICT機器利用によるコロナ禍克服の先進的な事例となった。
41	かながわ けんりつ さがみはら やえい こうとうがっこう 神奈川県立相模原弥栄高等学校PTA	自転車通学率が高いため、交通安全の観点から自転車点検を行うと共に、校内放置自転車一掃から発案された県内初の自転車リサイクルを令和元年度からスタートさせた。点検整備料（1,000円）と防犯登録料だけで自転車に再び命を吹き込むこの活動は、モノを大切にす精神を育み、サステナブル社会の実現を意識させる大切な活動となった。
42	かながわ けんりつ おだわら よう ご がっこう 神奈川県立小田原養護学校PTA	コロナ禍にあって、通常行っているイベントは中止になってしまうものがある中、感染症対策を講じながら、近隣老人福祉施設の駐車場の除草、学習発表会の環境づくりとしてバルーンアートの制作等を行った。また、「卒業生の保護者の話を聞く会」を実施し、参加した保護者は進路について考えを深めることができた。